

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーの未来はあなたの手の中に
The Future of Rotary Is in Your Hands
国際ロータリー会長 John Kenny



世界にも目を向けよう
Reaching Out to the World
富津中央RC会長 志波 克

2009～2010

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2156 第40回例会 2010. 5. 13 晴

点 鐘 : 志波 克 会長
進 行 : 平川恵敏 SAA
ソング : 我らの生業

SAA 平川恵敏



会長挨拶

会長 志波 克



今日は家の中にいるのが勿体ないような、いかにも5月らしい気持ちの良い日です。自分のことを申し上げると、先日高校同窓会のゴルフコンペで午後のハーフに39が出ました。年のせいで力と感覚が衰えるので、そろそろ30台は無理かなと思っていたので嬉しかったです。エージシュートを目指にもう一頑張りする気になりましたので、宜しくお相手の程をお願いします。

今週から高速増殖炉「もんじゅ」運転が始まりました。この炉は今一般的な軽水炉に比べて核分裂連鎖反応に使われる中性子のスピードが数万倍速く、炉内では熱発生と同時に燃料にならないウラン238をプルトニウムに変え燃料を増殖するので、こう呼ばれます。ただ、中性子のスピードを落とさないために伝熱材に原子量の大きい物質、簡単に言えば重い物質を使わなければならないので、システムの構成が難しく多くの困難を乗り越えなくてはいけないようです。出来るだけ早く実用になる事を祈ります。

普天間問題もどうなることでしょうか。アメリカの学者からのアドバイスで、「アメリカは現在日本国内に十分すぎる程の基地を持っているので、日本はアメリカに沖縄基地の撤去を求めるのがよい」というのがある一方、ジャーナリスト櫻井よしこ氏の「鳩山由紀夫氏の存在は戦後日本の家庭教育及び国民教育の失敗の代表的事例として歴史に刻まれるだろう」という意見もありました。

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcrcl>



幹事報告

幹事 榎本守男



報告事項

1. 地区より第10回障害者スポーツ大会支援チャリティディナーについて参加のお願いが再度来ております。
日程は5月28日ホテルマンハッタンです。参加できる方は申し出てください。
2. 富津市国際交流協会より講演の案内
日時:5月22日15時 場所:「いち川」
講演内容「クメールの遺跡に魅せられて」
講師 飯田和美氏
3. 功労クラブ表彰について
特別寄付の累計額が規程の表彰額になったので感謝状を贈るとの連絡が来ています。
4. ロータクトより第38回地区年次大会の案内が来ております。6月19日 ポートプラザ千葉です。参加よろしくお祈いします。
5. 台南西クラブより会報が届いています。回覧します。
6. 例会変更のお知らせ
木更津東クラブ 6月23日 点鐘18時30分
6月30日 休会
7. 5月20日合同例会
例会出席 46名(事務局3名)
ゴルフ参加 21名 に決定しました。
8. 6月3日の例会はさび波館2階になります。

結婚・誕生祝い

結婚 榎本守男 S50. 5. 24



誕生 高島治雄 S7. 5. 6

白石幸久 S22. 5. 27



卓話

妻との出会いと親鸞・ニーチェを思う

会員 榎本守男

こんにちは！本日は結婚記念月ということでクラブよりお祝いを頂きありがとうございます。結婚月はスピーチをすることが決められていますので少しお時間を頂きます。

私の人生についてはもう何度となく、IMでもクラブでもいろいろな機会を通じて話をさせていただいていますのでたぶん聞き飽きたと思います。

今日は学生時代、妻との出会いに限定して話をします。

妻とは大学のヨーロッパ研究部というクラブで一緒でした。同じ昭和25年生まれですが、彼女は早生まれ、私は浪人での入学でしたので、私が一年

生の時、妻は3年生でした。

彼女は話をしながらいつも長い髪をかきあげていました。そして、困った時の口癖「Oh, no!」の言葉が田舎者の私には新鮮でした。彼女のニックネームはマルクス。おそらくクラブの先輩がディベートに一徹に熱中する姿を見て、経済学部の人にそのビッグネームを与えてくれたのだと思います。特段、彼女がマルクス経済学の資本論に傾注していたわけではありません。

討論では熱く語り、動作は颯爽と、銀杏並木のベンチでは静かに読書、こんな姿に私は魅力を感じていたのだと思います。

そんな出会いから約40年、我が家の喧嘩は、今も討論会です。政治、経済、ジャンルを問わず、一切の妥協はせず、大論争。変化して欲しいものは変化せず、いつまでも変化して欲しくないものが変化しました。今は、私が「オーノー」です。

振り返れば長い道程。目的地はどこか知らないが、ここまで来た。だから、これからも共に携えて歩みたいと思います。

皆さんにも奥さまとの素敵な出会いがあったのではないのでしょうか。今度ぜひ出会いのスピーチをお願いします。

話は変わりますが、先週の例会で若鍋会員から自身で創られた「スペイン紀行」の本を頂きました。

私も10年以上前ですが、高橋会員と何の目的もなく漠然とスペインを旅しました。今となっては記憶に残るものは何もありません。記録もありません。若鍋会員のように目的をもって旅をし、その中で出会いを楽しみ、触れあうことを喜びとするそんな旅もいいなと思う反面、計画性と勇気のない私には無理だなと感じました。

読後、若鍋会員の湧き出でるエネルギーを感じました。本の中に定年退職後のセカンドライフを受動的に受け止めるのではなく挑戦と捉えて前向きに人生を送りましょうとありました。

このたび若鍋会員がロータリーに入会されたのもまさに新しい出会いへの挑戦であると思います。ロータリアンとして有意義な時間を共有できる喜びを感じております。末長いお付き合いよろしくお願

します。

話のついでにもう少し時間を頂きます。今年度の例会も残り少なくなると、年初に約束した事が気になってきました。それは「嘆異抄」の卓話をさせて頂くという事です。忘れた訳ではありません。夜になると、普段は読まない仏教関係の本にチャレンジし少しずつ準備を進めてきました。

夜ごとそんな本を読んでいると親鸞様の影響を受け過ぎて、今までと違う生き方に意義を見出している自分に気がつきました。仏教の示す心理は理解できて面白いと感じるのですが、まだまだ現役の私としては、ブッダの言葉の中にどっぷり身を置くことはできません。なぜなら、今私たちが生きている現世と想像の世界の来世は、まったく違うところに意義を置いているからだだと思います。だからこそ、それを今度挑戦する卓話のテーマに選んだのです。

でも、夜は親鸞様の本と共に眠りにつくのは最高です。睡眠導入剤としてお勧めします。「それならば」と朝の気分転換には何が効くのか？ 本屋に探しに行きました。ありました。それがニーチェでした。

売れ筋の棚に5~6種類が積んでありました。私は購入前に4~5ページ立ち読みして、言葉が心に浸みてくると買うことにしています。

私を捉えた言葉は次のフレーズです。「恐れ、小心、油断など、大人になるにつれてこびり付いている垢をきれいに落としてくれるのがニーチェだ。」

これで購入決定。活力を生むドリンク剤、読むドリンク剤として自分自身を高揚させております。夜は親鸞。朝はニーチェ。お勧めします。

最後に、ニーチェのとおきのフレーズを3つだけ紹介します。

「超人を目指して飛ぶ一本の矢となれ！ 常に今の自分を超越しようと決意し未来に向かって飛びつづける人であり続けろ」とのメッセージ、強烈にここに響きます。

「怠惰な読書ならするな！ 本は血をもって書かれたものである。血とは精神である。人の血を理解するにはただの読書では足りない。そらんじろ。自分の中に埋め込ませた宝にせよ。宝は自在に取り出す事が出来なければならない。」

若鍋会員の本もこういう気持ちで読ませていただきました。

「友ならば敵であれ！ 同情や慰めは友がすることではない。心を鬼にしてお互い厳しく接する甘える事のない敵同士の関係の中に友情は存在する。」

志波会長はじめ会員の皆さんとゴルフをするとき、年齢、体調に関係なく頂ける物は容赦せずありがたく頂戴しようと思っています。これがロータリーの友愛精神でもあると思います。

今日は時間に制約のある中、それを忘れ、妻との出会いの話、若鍋会員の話、読むドリンク剤ニーチェの話をさせて頂きました。どうも志波会長が理系、特に原子力とか核融合の話をされると、私の心の中に核分裂が起こり、そのエネルギーが長いスピーチに変化するようです。申し訳ありませんでした。

誕生日を頂いて

会員 白石幸久



誕生日を頂き有難うございます。昭和22年5月27日生まれで、もうすぐ63歳になります。

戦後ベビーブームのピークの時ですので非常に競争率のはげしかった世代です。

小学校は吉野小で100人弱の生徒数でした。当時の校長先生はロータリークラブ先輩の大森会員であり、大貫中学校では生徒数300人で石渡会員が校長先生でありまして、ロータリーともどもお世話になり、今ではもうロータリー歴15年になります。何らかの節目を付けなければいけないと考えております。

今年度の「ちょっとした目標」ですが速読術を向上させることです。参考文献としたのは、①「一冊10分で読める速読術」、②「本が今までの10倍速く読める法」等です。

誕生日を迎えて

会員 高島治雄



このごろいろいろなことを例会で学びます。今日も会長の話から高速増殖炉の由来を知りました。また幹事から久しぶりにニーチェを思い起こしました。ロータリークラブは自己啓発される場所と言われますが正にその通りです。

さて、只今は誕生日のプレゼントを頂き誠にありがとうございました。過日は娘たち夫婦と孫に祝ってもらい、今日またロータリークラブの仲間にも祝ってもらう。とても嬉しく思います。

78歳になりました。過日「私の兄、姉の状況からとても喜寿まで長生きしまいと思っていたので、これからはおまけの人生としてゆっくりクオリティライフを過ごしていきたい」とお話したことがありますが、1年経ちました。

これから2年目に向けて若鍋会員の伊能忠敬の話に刺激されたわけではありませんが、静かな老人として過ごすのではなく、まだ探せるかもしれない新しい自分探しをするために脳も体も動かす老人として過ごしていきたいと思います。

さて、ついでに卓話をしなさいとのこと。何も用意しておりません。申し訳なく思います。そこで去る4月17日に解禁になった雪の立山アルプスの雪壁間を歩くツアーに行った話をします。

4月25日～26日の一泊二日に出かけたのですが、富山市内のホテルに泊まり、ゆっくり市内散策をしました。まだ古い市電が通り、最新のドイツ製の市電も走る富山の街は、富山の菓売りを日本中に広めた前田侯の城下町。街内にはいたるところにスタチューが建ち、また前衛的な市役所の建物。まさに新旧混じり合った大変文化の薫り高い街に驚かされました。次の日には、遠くに雪の美しい立山連峰を仰ぎながら出発地である立山に向かい、そこから美女平までケーブルカーで登ります。そこで高速バスに乗り換え、約23Kmの距離を室堂まで走りません。

出発点である美女平から段々と雪が深くなり、青空に輝く白銀の山並みは壮観です。除雪車「熊太郎」によって削り取られた左右雪壁の道を登り、室堂に着くころはバスの3～4台の高さの雪壁の道を走ります。この室堂で降りて立山連峰が一望できるパノラマロード、何層かに重なる高さ16Mにも達する大谷雪壁ウォークをするのですが、晴天にも恵まれ、ただただ自然の尊さに魅了されて素晴らしい旅となりました。

それからトンネルバスで大観峰に、ここで見渡す雪の山々もまた見事です。更にはロープウェイで黒部平まで、そそり立つ崖に寄り添うように建つ駅舎から観る白銀の立山の山々もまた印象的です。そして黒部ケーブルカーに乗り換え、更にはトンネル内トrolleyバスで扇沢に到着して立山アルペンコースは終わるのです。夏、秋の黒部は何度か訪れたことはあるのですが、春の(?)白銀の中の立山連峰の中を歩く旅は初めてでした。

すでに皆様の中には行かれた方々が多いでしょうが、もし未経験でしたら是非お勧めです。これで卓話に代えさせてください。

委員会報告

会長エレクト 原田雅式



原田会長エレクトより3件の報告がなされた。

1. 8名の会員から来年度ロータリー手帳の申し込みがあり本日配布しました。
2. 来年度の活動に向けて来年度役員を対象としたセミナーの案内が届いております。奉仕プロジェクト委員を対象としたセミナーですので関係者の参加をお願いします。
3. 来年度の活動報告書を6月中に作成予定です。つきましては各委員長並びに担当部長は6月10日の例会までに担当部署の活動報告書を作成願います。本日配布した役員名簿の委員長及び担当部長の方にはよろしく願いいたします。



ニコニコ BOX

親睦担当部長 山田昌雄



高橋裕之 昨日、激痛をもたらした虫歯を平川先生に抜いてもらい、今日は絶好調です。

山田昌雄 窯焼きが終了しました。何とか記念品ができました。

高島治雄 誕生祝いを頂きました。78才になりました。

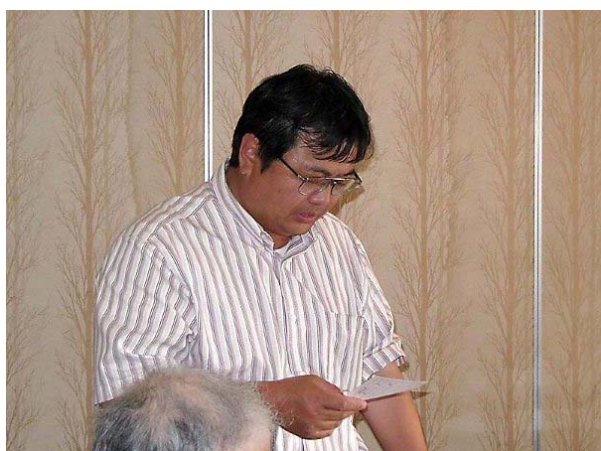
白石幸久 誕生祝いを頂き有難うございました。

榎本守男 結婚祝いを頂き有難うございました。

志波 克 久しぶりにハーフ30台が出て、エージシュートへの夢が膨らみました。

出席報告

出席担当部長 高橋裕之



区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	22	19	3	0	86.36%
前回	22	19	3	0	86.36%

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦
火	富津(最終例会 18:30~19:30)
水	木更津東、富津シティ(最終 19:00~20:00)
木	上総、木更津

君津 RC	ホテル千成	0439-52-8511
袖ヶ浦 RC	和風レストラン菜心味	0438-64-0756
富津 RC	山の上ホテル	0439-67-0388
木更津東 RC	ホテルロイヤルヒルズ 八宝苑	0438-23-0211
富津シティ RC	ホテル喜楽館	0439-87-4126
上総 RC	割烹旅館 山徳	0439-27-2003
木更津 RC	東京ベイプラザホテル	0438-25-8888

編集後記

榎本会員の奥様との出会いについては、大変ユーモアにあふれ、楽しく読むことができました。また親鸞・ニーチェについて語った行は、人生論や哲学を論じていたころの青春時代を思い起こさせました。

榎本会員、高島会員の卓話から、この3月に若鍋会員が入会したことが、自己啓発のカンフル剤的作用になっていることを大変うれしく思いました。

高島会員の「雪の立山アルプスの雪壁間を歩くツアー」の光景描写は真に迫り、美しい立山連峰が目に浮かびます。ぜひ体験してみたいと思いました。

(須藤)

